

# 結 果 報 告

|                    |                         |          |                         |           |   |
|--------------------|-------------------------|----------|-------------------------|-----------|---|
| 大会名                | 平成28年度第68回日本ハンドボール選手権大会 |          |                         |           |   |
| 競技日                | 12月22日(木)               | 試合番号     | け                       | 回戦        | 2 |
| 種別                 | 男子 <b>女子</b>            | 会場       | <b>伊勢丹八王子</b> ・ 駒沢体育館   |           |   |
| Aチーム               |                         |          | Bチーム                    |           |   |
| <b>ソニーセミコンダクター</b> |                         |          | プレステージ・インターナショナル アランマーレ |           |   |
| 得点合計               | 小計                      |          | 小計                      | 得点合計      |   |
| <b>27</b>          | 14                      | 前半       | 9                       | <b>14</b> |   |
|                    | 13                      | 後半       | 5                       |           |   |
|                    |                         | 第1延長(前半) |                         |           |   |
|                    |                         | 第1延長(後半) |                         |           |   |
|                    |                         | 第2延長(前半) |                         |           |   |
|                    |                         | 第2延長(後半) |                         |           |   |
|                    |                         | 7mTC     |                         |           |   |

## 【 戦 評 】

記載者氏名

鈴木 慎二

日本リーグ勢の一角のソニーセミコンダクターと富山県より日本リーグ参入を目指しているプレステージ・インターナショナルアランマーレが挑む一戦。ソニーNo15安倍のミドルシュートで先制したが、アランマーレもNo15鈴木のパスカットからの速攻などで対抗。序盤ソニーはNo66ダイバ、安倍を中心としたデフェンスからリズムを掴むが、アランマーレGK安田の好守とソニーのキャッチミスなども重なり、前半12分アランマーレNo13園田の速攻で3 - 3の同点に追いつく。ここで、たまたまソニーベンチはタイムアウトを取り、選手を落ち着かせる。直後、ソニーNo18藤井のミドルシュート、No11諸岡の速攻で勝ち越しに成功。アランマーレは、No9横嶋、園田のミドルで対抗するが、ソニーNo2山野のロング、ミドルシュートも決まり出し、前半29分諸岡のシュートのこぼれ球からのサイドのカットインで14 - 9と初めて5点差となり前半を終了。後半も、ソニー藤井の速攻の得点から始まり、片やアランマーレがソニーのデフェンスを組織的に崩せず、アランマーレのミドルシュートが単発になる所を経験豊富なGK飛田が冷静に捌き、ソニーの速攻につなげる。後半14分30秒ソニーNo8鈴木の速攻で21 - 11の10点差となる。結局、その後もペースは変わらず27 - 14でソニーがアランマーレを日本リーグの貫録を示し退けた。